



観る、という支援。



入場無料



UNHCR 難民映画祭 2018

9/7 [FRI] - 10/7 [SUN] 東京・札幌・名古屋

主催:国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)駐日事務所/特定非営利活動法人 国連UNHCR協会
Information in English is available on official website unhcr.refugeefilm.org



UNHCR難民映画祭について

世界では今、紛争や迫害により6850万人の人々が住みなれた故郷を追われています。この途方もない数字を前に、自分にいったい何ができるのかと、ともすれば無力感に陥るかもしれません。UNHCRはこうした人々を決して置き去りにはしないと、世界130カ国で日夜活動にあたっています。そして、その活動は日本の皆さまのご支援によっても支えられているのです。UNHCR駐日事務所と国連UNHCR協会は、家を追われた人々の置かれた状況や逆境に立ち向かう強さなど、難民一人ひとりの物語を日本で伝えるために、今年も難民映画祭を開催いたします。難民はどこか遠くの場所にいる人々ではなく、共に生き、支え合う仲間であることが、映画を通じて実感できるはずです。そして毎年各地の会場から、難民を支援してくださる人が多く生まれています。今年の映画祭のテーマは「観る、という支援」。どうぞ映画祭に足を運んでいただき、まずは観ることから、難民支援の輪に加わってください。

国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)駐日代表 ダーク・ヘベカー
特定非営利活動法人 国連UNHCR協会 理事長 滝澤三郎

お申し込み方法

ウェブサイト、または往復はがきでお申込みください。

先着順の受付ですので、定員に達し次第締め切りとなります。1作品ごとのお申込みとなります。

ウェブサイトからのお申込み

ウェブサイトの申込み画面から、各上映会場の「ウェブサイト事前申込締切日」までにお申込みください。

unhcr.refugeefilm.org 「難民映画祭」で検索

往復はがきでのお申込み

下記の必要事項を記載し、「往復はがき事前申込締切日」までに難民映画祭事務局までお送りください(締切日の消印有効)。1回の応募につき1名1作品のみとなります。

往復はがき

【表面】〒107-0062 東京都港区南青山6-10-11

ウェスレーセンター3F 国連UNHCR協会「難民映画祭」事務局宛

【裏面】①申込み作品、上映日時、会場 ②お名前(漢字・フリガナ)

③郵便番号と住所 ④電話番号 ⑤生年 ⑥性別

返信はがき

【表面】応募者ご本人の住所と氏名を記載してください。

【裏面】難民映画祭事務局が結果を記載いたしますので、空欄のままにしてください。

当日のお手続き

・当日は上映1時間前より受付を開始いたします。会場受付にて、以下をご提示ください。

【ウェブサイトからのお申込み】

スマートフォンのチケット画面またはチケットを印刷した紙

【往復はがきでのお申込み】

返信はがき

・先着順に整理券と交換いたします。上映開始後の入場はできませんので早めに受付をお済ませください。

・上映は各回入替制となり、上映20分前より整理券番号順での入場となります(自由席)。

当日券について

当日券を各回若干数ご用意しています。上映1時間前より受付にて承ります。先着順のため、なくなり次第終了となります。

※上映作品、イベントはやむを得ない事情により変更・中止される場合がございます。予めご了承ください。

第13回UNHCR難民映画祭に関するお問合せ先

電話:03-6427-7305(平日10時~18時) ※お電話、Eメールによる事前申込みは承っておりません。

上映作品

日本初上映



©Lisa Madison

ソフラ ~夢をキッチンカーにのせて~

Soufra 【監督】トマス・モーガン

アメリカ、レバノン | 2017年 | 73分 | ドキュメンタリー

レバノンの難民キャンプで生まれ育ったパレスチナ難民のマリアムは、自分の運命に立ち向かうためにケータリングビジネスの起業に挑戦する。その名は「ソフラ」。幾多の困難に直面しながらも、同じような境遇にあるパレスチナ、シリア、イラク難民の女性たちとともに奮闘する日々が続く。人類史上、最大の難民危機でうまれたサクセストーリーは、絆、希望、勇気、情熱とともに、人々が戦争による心の傷を癒していく姿を描く。



©Gregg Telussa

パパが戦場に行った日

The Day My Father Became a Bush 【監督】ニコル・ヴァン・キルスドンク

オランダ | 2016年 | 90分 | ドラマ

平和な日々の中でパン屋を営んでいた父娘に起きた物語。ある日紛争が勃発し、父親は娘のトーダを祖母に託して兵士として戦地へ向かった。日に日に激化する戦闘。祖母はトーダの命を守るために、母親の住む隣国へ避難させる。母親を訪ねてたった一人の避難の旅。戦闘の光景を目の当たりにしながら、トーダは数々の試練を乗り越えてゆく。10歳の少女の目に大人たちの戦いはどう映ったのか。紛争や迫害によって避難を余儀なくされる人々が急増する今、そこにある恐怖と苦悩を日本で暮らす私たちがどれだけ想像できるのか問いかけられている。



©Innerspeak Media

アイ・アム・ロヒンギャ

I am Rohingya : A Genocide in Four Acts 【監督】ユスフ・ズィーネ

カナダ | 2018年 | 90分 | ドキュメンタリー

ミャンマーから命がけでバングラデシュに避難した14人の若きロヒンギャ難民。その後カナダのオンタリオ州へ定住し、拷問、殺人、レイプ、焼き討ちといった壮絶な経験に苦しみながらも、自身の生活を立て直そうと奮闘する。彼らを突き動かすのは、“忘れてはならない悲劇”を伝えていかなければならないという使命感。演劇を通じてロヒンギャの人々が受けたいた迫害、いま直面する現実を世界の人々に伝えようと、トラウマ、自らのアイデンティティに向き合いながら成長していく姿を描く。

上映作品

日本初上映

UNHCR REFUGEE FILM FESTIVAL



©UNHCR

君たちを忘れない～チョン・ウソンのイラクレポート～

The Unforgotten 【監督】ポール・ウー

韓国、イラク | 2017年 | 23分 | ドキュメンタリー

韓国人初のUNHCR親善大使であり俳優のチョン・ウソンは、2017年に訪問したイラクの国内避難民キャンプで、聴力に障がいを抱える9歳の少女に出会う。「外の世界をもっと知りたい」という強い眼差し、異国からの訪問者とコミュニケーションをどうと懸念な姿に心打たれる。紛争の犠牲になった人々、中でもとくに脆弱な立場におかれた障がいをもった人々とその家族の姿を追ったドキュメンタリー。UNHCR韓国事務所製作。

UNHCR REFUGEE FILM FESTIVAL

アンコール上映

UNHCR REFUGEE FILM FESTIVAL



©Aleppo Media Center

アレッポ 最後の男たち

Last Men in Aleppo 【監督】フィアース・ファイヤード

デンマーク、シリア | 2017年 | 104分 | ドキュメンタリー

シリアの街アレッポは今日もまた昼夜を問わず爆撃が続く。そこには人々が逃げ惑う中、誰よりも早く瓦礫の中から生存者を救うため、爆撃地に向かう男たち「ホワイト・ヘルメット」の姿が。戦闘機が再び攻撃を仕掛けて来るかもしれない中、人々の命を救おうとする男たち。だが彼らにも守るべき家族がいる。自らの命を懸け、家族を危険にさらしてまで、そこに留まるべきか否か—。本作は筆舌に尽くしがたい苛烈な戦闘地で人々が見せる勇気と他者に対する人間愛を描く。2017年難民映画祭上映作品。

UNHCR REFUGEE FILM FESTIVAL

アンコール上映

UNHCR REFUGEE FILM FESTIVAL



©Masaya NODA

異国に生きる—日本の中のビルマ人

Life on Foreign Land 【監督】土井敏邦

日本 | 2012年 | 100分 | ドキュメンタリー

1991年にミャンマー軍事政権の弾圧を逃れ日本に渡ったビルマ人青年。妻との再会、念願のレストラン開店、20年以上にわたる日本での暮らしに訪れた安定。しかしの間、彼は祖国の民主化運動を諦めることはなかった。異国と祖国の狭間で揺れ動く一人の人間を14年の歳月をかけて追い続けた感動作。2013年難民映画祭上映作品。名古屋のみ上映。

UNHCR REFUGEE FILM FESTIVAL

上映スケジュール / 会場

東京上映

事前申込締切日 ウェブサイト 9/4(火) 往復はがき 8/31(金) 消印有効

13:00～ 16:00～ 19:00～

9月7日(金)

『ソフラ～夢をキッチン
カーにのせて～』(73分)
A

9月8日(土)

『パパが戦場に行った日』
(90分) **B** 『ソフラ～夢をキッチン
カーにのせて～』(73分)
A 『君たちを忘れない～チョ
ン・ウソンのイラクレボ
ト～』(23分)
D

9月9日(日)

『アイ・アム・ロヒンギヤ』
(90分) **C** 『パパが戦場に行った日』
(90分) **B** 『アレッポ 最後の男たち』
(104分)
E

イタリア文化会館
(370席)



東京都千代田区九段南 2-1-30
地下鉄「九段下駅」2番出口より
徒歩10分

グローバルフェスタJAPAN 2018

事前申込不要

15:30～

9月29日(土)

『ソフラ～夢をキッチン
カーにのせて～』(73分)
A

お台場センター
プロムナード



東京都江東区青海 1 丁目 2
「東京テレポート駅」から徒歩 1 分
「青海駅」から徒歩 3 分

札幌上映

事前申込締切日 ウェブサイト 9/26(水) 往復はがき 9/19(水) 消印有効

13:00～ 16:00～ 18:30～

9月29日(土)

『君たちを忘れない～チョ
ン・ウソンのイラクレボ
ト～』(23分) &
『ソフラ～夢をキッチン
カーにのせて～』(73分)
A **C** 『アレッポ 最後の男たち』
(104分)
E

札幌プラザ 2・5
(376席)



北海道札幌市中央区南2条西5丁目
地下鉄「大通駅」2番出口より
徒歩5分

名古屋上映

事前申込締切日 ウェブサイト 10/3(水) 往復はがき 9/26(水) 消印有効

13:00～ 15:30～ 18:00～

10月6日(土)

『パパが戦場に行った日』
(90分) **B** 『アイ・アム・ロヒンギヤ』
(90分) **C** 『アレッポ 最後の男たち』
(104分)
E

名古屋国際センター
別棟ホール (200席)



愛知県名古屋市中村区那古野
1丁目4-7-1
地下鉄「国際センター」駅下車すぐ

10月7日(日)

『異国に生きる—日本の
中のビルマ人』(100分) **F** トークイベント &
『君たちを忘れない～チョ
ン・ウソンのイラクレボ
ト～』(23分)
D 『ソフラ～夢をキッチン
カーにのせて～』(73分)
A

【主催】



【パートナー】



【特別協賛】

Canon

富士メガネ



【協賛】

SONY

TOYOTA

JVTA[®]



【後援】



東京上映

【特別協力】

札幌上映

【共催】

【上映協力】

【後援】



札幌市教育委員会

名古屋上映

【共催】

【後援】



【字幕制作協力】日本映像翻訳アカデミー®

【デザイン協力】清水覚

(五十音順)

第13回UNHCR難民映画祭 パートナーズ募集

UNHCR難民映画祭で上映する作品の上映イベントを学校が主催者となって開催する取り組み「学校パートナーズ」がスタートしたのは 2015年。当初は9校だった参加が、2017年には25校へと拡大しました。そこで今年からはパートナーズの枠を企業・団体にも広げ、映画を通して難民問題への理解と共感を広げるという本映画祭の取り組みに賛同してくださる学校・法人パートナーズを募集します。UNHCR難民映画祭は後援として、上映作品のラインナップや広報ツール、パートナーズのロゴ提供などを通じて上映会をサポートします。

開催期間：2018年8月1日～2019年7月31日

お問い合わせ：難民映画祭事務局 Eメール：rff@japanforunhcr.org

映画祭パートナーズ開催協力：ユナイテッドピープル株式会社



難民を支えるためのご寄付を受け付けています

ゴシエン ナンミニニ

【電話】 0120-540-732 (平日10時～19時) 【ウェブ】 [国連 難民](#) [検索](#)

【ゆうちょ銀行】 口座番号: 00140-6-569575 口座名義: 国連UNHCR協会

* お電話ではクレジットカードでのご寄付・ゆうちょ銀行振込用紙のご請求を受け付けています。

* 国連UNHCR協会は認定NPO法人です。ご寄付は税控除の対象となります。